

## 蔵王山が噴火！？

小学校の校歌にも出てくる「すがた雄々しき『蔵王山』」。

校舎の後ろから、いつも児童たちを見守ってくれている山です。福山市東部のいろんな場所から確認できる蔵王山は、周辺の学校の校歌にも多く登場します。

《校歌に蔵王山がでてくる学校》

東小、引野小、千田小、緑丘小、西深津小、日吉台小、東中、城東中、培遠中、中央中

その蔵王山が、明治時代に噴火をしたというビッグニュースをご存じでしょうか？

それは、明治23年(1890年)1月16日の夜の事でした。

当時はもちろんネットニュースもない中、遠く離れた大阪で1月21日付関西日報(明治22年(1889年)7月～まもなく廃刊)に第一報が掲載されました。



### 蔵王山噴火

1890年(明治23年)1月21日 関西日報

○備後国深津郡千田村と市村との境にある蔵王山は基高さ凡そ3百間にして福山市街東北20餘町と隔ちし所にあり然るに去る16日午後8時頃忽然鳴動し其音宛ら雷鳴に異ならずして鳴動する事2時間の長さに及びければ村民の驚愕一方ならず何事の起れるやを探索するの暇もなく周章狼狽家財を片付けもせずして逃去りたるも多しとかや、暫くありて山の頂より発火し出し山岳ために破裂して砂礫の飛散する状凄く又発火の有様は地雷火の如くなりし折柄東北風強くして土石煙火は福山市街に向かって飛散し其煙火は巖山に至る迄に惰散したれど土石は市街に積り市中の入口の如きは一尺(30.3cm)以上の高さとなれり夫れより南へ遠ざかるに随い漸次減少するも尚は蔵王山を距ること2里半(約9818m)の水呑村へも折々土石を雨(ふらす)ことありしという。元来此山は草莽生茂り時々狐狸兎猿等の人目に舞る々位にて土質は未だ充分なる取調べを経ざれど古来発火せしをなしと聞けり右に付福山市街にても人民の恐怖甚しく逃途を失ひ親子夫妻の行衛知れざる者も多く其惨状言語に盡されず  
～(中略)～

郡役所にては噴火に付取調べを爲したる今迄に取調べ得し處に依れば人畜の死したるは〇〇〇〇と馬2頭、牛8頭のみなれど家屋を失ひし者54戸あり損失は凡そ340万円なりとぞ尚は委細は跡より報道すべしと去る17日午前7時附千田村発の報に見えたり云々と。(関西日報)

#### (要訳)

1月16日の午後8時頃、備後の国福山市街そばの蔵王山が2時間にわたって大噴火し、その鳴動たるや地雷火のごとく、村民は驚愕一方ならず皆家財を置いたまま逃げ去った。

噴火は山頂より起こり、東北の風が強く、市街地の入り口では土石が1尺(30.3cm)以上積み、2里半(約10km)離れた水呑まで土石の雨を降らせた。

～(中略)～

結局、蔵王山の噴火で死亡したのは(ちょうどその時に蔵王山の麓を通行していた)1名と馬2頭と牛8頭だけであったが、家屋の被害は54戸にのぼり、被害総額は340万円であった。と17日午前7時の千田村からの発表による。

この記事と同様のものが、1月23日付の東京日日新聞（毎日新聞の前身）、1月24日付の東京朝日新聞（朝日新聞の前身）にも掲載されていることが確認できました。

当時の新聞は、今の新聞ほど紙面が多いわけでもなく、今回の事件は全国でもトップクラスのニュース扱いだったようです。

「蔵王山が火山だった」なんて話を皆さん聞いたことがあるでしょうか？しかも、地元から遠く離れた場所で話題になるなんて？!

実は・・・このニュースは全くの虚報であり、そのような事実はありませんでした。

1月25日付の東京朝日新聞では「蔵王山噴火の件は事実無根につき取り消す」と訂正記事が載せられました。

ですが、他の新聞では確認できませんでしたので、そのまま報道されっぱなしだったのかもしれませんが。

しかし、何が発端で、どんな目的でこのような記事がうまれたのでしょうか。福山の地理に詳しい者の仕業？!

今でいうところの、「130年前のフェイクニュース」。なんとも不思議な事件です。



**●蔵王山噴火** 鶴牧園温泉野千田村と市村との間にある蔵王山は、其の高凡そ二百間にして、麓山脚東北二十餘町と隔りし所にあり然るに去る十六日午後八時頃忽然噴動し其音死ら雷鳴に異ならずして轟動する事二時間の其間に及びければ、村民の驚愕一ならず何事の起れるやと探案するの暇もなく、町章狼狽財を片付けせて逃去りたるも多し。かや暫くありて山の頂より炎火出出し山岳為めに蔽ひて砂塵の飛散する状遂に又噴火の音轟々噴火の如くなり。折々東北風強くして土石煙火ハ福山市街に向つて飛散し其煙火ハ山頂に至るに消散したるを、市街に接する所の山の入口の如きは、一尺以上の高さとなり夫れより更に遠きかたに圍ひ漸次風散する。向は蔵王山と距ると二里半の水窪村へも新々土石を落とすとありし。元来此山は昔年々々土石を落とすとありしに、人目に觸るゝ位にて土質は未だ充分なる取崩を

**●九家銀行身代事件** 九家銀行身代事件の調査報告書。九家銀行身代事件は、東洋銀行が九家銀行を合併するに際して、九家銀行の債権者に対して、東洋銀行が責任を負うことになった。この事件は、九家銀行の破産清算と関係している。九家銀行は、明治十八年に設立されたが、明治三十二年に破産した。この破産清算は、東洋銀行が引き継ぎ、九家銀行の債権者に対して責任を負うことになった。この事件は、九家銀行の破産清算と関係している。

**●九家銀行身代事件** 九家銀行身代事件の調査報告書。九家銀行身代事件は、東洋銀行が九家銀行を合併するに際して、九家銀行の債権者に対して、東洋銀行が責任を負うことになった。この事件は、九家銀行の破産清算と関係している。九家銀行は、明治十八年に設立されたが、明治三十二年に破産した。この破産清算は、東洋銀行が引き継ぎ、九家銀行の債権者に対して責任を負うことになった。この事件は、九家銀行の破産清算と関係している。

●九家銀行身代事件の調査報告書。九家銀行身代事件は、東洋銀行が九家銀行を合併するに際して、九家銀行の債権者に対して、東洋銀行が責任を負うことになった。この事件は、九家銀行の破産清算と関係している。九家銀行は、明治十八年に設立されたが、明治三十二年に破産した。この破産清算は、東洋銀行が引き継ぎ、九家銀行の債権者に対して責任を負うことになった。この事件は、九家銀行の破産清算と関係している。

廣告